

素材の種類について

— 合成皮革・塩化ビニール・人工皮革

天然皮革により近い風合い、感触へ

天然皮革の代用品として開発

合成皮革、塩化ビニール、人工皮革は、いずれも天然皮革の代用品として、第二次世界大戦後に登場したものです。天然皮革より安価とか、軽量といった特性を持つ半面、吸湿性や通気性に劣る、キズに対して補修ができないなどの短所があります。



■合成皮革

昭和30年代に登場。靴やハンドバッグ、家具や衣類などにも使われています。織物や不織布などに、ポリウレタンやナイロンなどの合成樹脂を塗布して、天然皮革に似た感触や風合いを生み出したものです。塩化ビニールに比べて、天然皮革に近い外観と表面の強さを持っています。

色彩が鮮やかで、天然皮革に比べて軽量、手入れや保管が容易といった特徴があります。

※ポリウレタン(PU合皮)は、製品の使用未使用に関係なく、空気中の湿気、紫外線、排気ガスなどで加水分解を起こします。特に高温多湿、空気の滞留などで、より劣化が進みます。台所で使用するスポンジが、3カ月ぐらいたつとべたついたり、ぼろぼろになったりするのと同じ現象です。

■塩化ビニール

昭和20年代に開発され、靴や家具、サンダルなど幅広く利用されました。塩化ビニール樹脂を貼り合わせたり、織物や不織布などに塗布したりして、天然皮革に類似させた素材です。低コストで生産が可能、耐水性に優れているといった特徴があります。

※合成皮革の一種です。

■人工皮革

昭和30年代後半に開発された素材。不織布などに、ポリウレタン樹脂などをしみ込ませることで、微細で連続した気孔をつくり、天然皮革の組織構造を人工的につくり出したものです。靴やハンドバッグ、衣類などに使われています。合成皮革より高価ですが、天然皮革により近い風合いや感触を備えています。

綿やナイロンが代表的な素材



ナチュラルな風合いが人気の綿

鞆・ハンドバッグ・小物には、革や合成皮革、人工皮革だけではなく、布地を使用したものも少なくありません。布地の種類には織物と編み物があり、鞆・ハンドバッグ・小物に利用されているのは、大半が織物です。

布地の素材には、綿や麻、絹、ウールなどの天

然繊維と、ナイロン、ポリエステルなどの化学繊維があります。綿は、天然繊維の中で鞆・ハンドバッグ・小物に最も多く利用されている素材で、ナチュラルで素朴な風合いが持ち味です。短所としては、濃い色ほど洗濯などによって色落ちしやすい点があげられます。

軽くて強いのがナイロンの持ち味

化学繊維の中で利用頻度が高いのはナイロンです。軽い、強い、安価といった点から、鞆・ハンドバッグ・小物に多く用いられています。また、近年では、ポリエステルも人気を集め、鞆などへの利用が増えています。

■天然繊維と化学繊維の違い

天然繊維	綿や麻、絹、羊毛などがあります。天然繊維の糸の太さを表すのは「番手」。生地の厚さは「号数」で表します。
化学繊維	ナイロン、ポリエステル、アクリルなどの合成繊維、天然繊維を原料にして製造されるレーヨンなどの再生繊維に大きく分けられます。化学繊維の糸の太さは「デニール」で表記されています。

鞆やハンドバッグ、小物を支える素材

夏向きの竹とゴージャスなビーズ

皮革や布地などのほかに、鞆・ハンドバッグ・小物に使われる素材には、竹や籐などの天然のもの、ビーズや金属、ガラスなどの人工のものがあります。竹や籐、貝や麦わらなどは、夏向きの素材として利用されることが多く、鞆やハンドバッグにナチュラルで涼しげな印象を与えます。

ビーズや金属、ガラスは、パーティーなどの華やかな席で用いられるハンドバッグに利用されることが多いようです。きらびやかでゴージャスな印象を演出します。



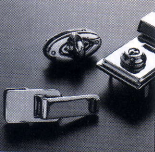
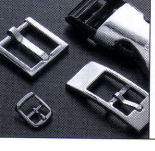
鞆やハンドバッグ、小物の脇役たち

さまざまな形と機能を持った部品

鞆・ハンドバッグ・小物には、皮革や布地以外に、主に金属でできている部品が多く使われています。がま口などの開閉を受け持つ口金、鞆のかぶせを留めるオコシ、ヒネリ、革と革とをつなぎ留める鉤、ホックやファスナーなどがそれです。皮革製品の脇役ですが、いずれも欠かすことはできません。

■部品の種類

	鉤 革と革とをつなぎ留めたり、飾りとして使用したりします。カシメ、リベットとも呼びます。
	口金 大型の口金を「大串」と呼ぶなど、口金にはサイズや形状、機能によって、さまざまな名前がついています。

	オコシ・ヒネリ・錠前 鞆やハンドバッグのかぶせなどを留めるための金具。留め方や形状によって、錠前、ヒネリ、オコシの名前がついています。
	ホック オスとメスがあり、両方合わせて1組です。鞆やハンドバッグのかぶせを留めるなど、さまざまな働きをします。
	はとめ ベルトなどにあけた穴を固定する円筒形の金具。はとめリングとも呼びます。
	底鉄 鞆の底に取りつける金具で、底をキズや汚れから守る働きをします。
	バックル ショルダーベルトの長さを調節したり、ショルダーベルトと鞆やハンドバッグの本体とを結んだりするもの。尾(美)錠とも呼びます。

	茄子カン・Dカン・手カン ショルダーベルトや手ひもと、鞆やハンドバッグの本体とを結ぶ際などに使用する金具。形状によって茄子カン、Dカン、手カンなどの呼び名があります。
	鎖 ハンドバッグなどのショルダーベルトや手ひもに使い、チェーンとも呼びます。
	ファスナー エレメント(ファスナーの歯の部分)、スライダー、テープ、止めから構成されています。エレメントにはナイロン、ビスロン、アルミニウム、真鍮、アルミニウム合金などが用いられています。なお、マジックテープを、面ファスナーと呼ぶことがあります。

